

2018年11月 15日  
第111号

# 全労連

## 憲法 平和闘争ニュース

全労連  
憲法・平和グループ



10~11月は、「全労連憲法総行動月間」です。単産・地方の取り組みを紹介します。

### ●大阪労連

## 機関紙で憲法特集 読み合わせ学習、対話で活用を

大阪労連は、3000万人署名の組合員1人10筆の目標を達成させることをめざすと同時に、①3000万人からの署名を集めきるまで続ける、②改憲を断念させるまで署名運動を続けることを掲げています。具体的な方針として、①署名行動前や会議冒頭のミニ学習を含め、あらためて憲法学習とセットでのとりくみを進める、②すべての職場を視野に署名ゼロ職場をなくす、③職場の組合員全員に声をかけ、署名をすすめる人を増やしていく、④憲法を守り生かす運動の中で、憲法・組合を語り、組織拡大をすすめる、としています。

機関紙「おおさか労連11月」では、渡辺治一橋大学名誉教授と阿野大阪労連女性部事務局次長、河合大阪労連青年部長の対談の記事を掲載し、憲法問題の特集しています。そこでは、①憲法が平和と人権の砦として果たしてきた役割、②憲法の存在が及ぼす力、③憲法の力を確信し、組織内での本気の議論が呼び掛けられています。

機関紙を職場や機関会議の中で読み合わせし、憲法に対する思いなどを話し合ってもらう事、同様に職場での憲法カフェ、しゃべり場などでの活用を呼び掛けています。

**おおさか労連** 第111号 2018年11月10日 (毎月11日発行)

編集者 大阪労働組合連合会 発行人 代表人 編輯人 阿野 俊子  
〒550-8501 大阪市東淀川区西中島1-1-1 全労連ビル 11階  
TEL: 06-6354-0861 FAX: 06-6354-0862  
E-mail: info@osaika-roan.gr.jp  
http://www.osaika-roan.gr.jp

全大阪労働組合総連合機関紙

働き方改革・労働契約法学習会  
12月20日(木) 18:30- 国労大阪会館3F大会議室  
核兵器なき世界へ  
映画とトークのつどい  
12月1日(土) 13:30-20:00 工場の森ホール  
参加費 1,000円

たかいは  
ここから  
3000万人署名で  
改憲発議はさせない

2018年の総経団大月間で  
仲延を増やそう

10月11日には阪東で初の総経団大スタート成功が確認され、19回目で書き付けられるよう署名を上げよう(署名をすすめるために積極的にあそび)と呼びかけられました。

352号 2018年11月10日 (4)

ろ=れん  
クロスワードパズル

12月20日(木) 18:30- 国労大阪会館3F大会議室  
核兵器なき世界へ  
映画とトークのつどい  
12月1日(土) 13:30-20:00 工場の森ホール  
参加費 1,000円

好カーン

2018年11月10日 (2)

### 日本国憲法は平和と人権の砦 学習を力に、改憲発議ストップへ

声を与えるから暮らしがよくなる

先陣は空気がよくなる

本気の議論で憲法の力を確信すること

阿野 俊子 女性部事務局次長

河合 青年部長

10月29日、大阪労働組合連合会の総経団大月会が国労大阪会館で開催され、阿野代表と河合青年部長の対談が行われ、阿野代表が「改憲を断念させるまで署名運動を続ける」という決意を表明し、河合青年部長が「改憲を断念させるまで署名運動を続ける」という決意を表明した。

10月31日、大阪労連は国労大阪会館で総経団大月会を開催し、阿野代表と河合青年部長の対談が行われ、阿野代表が「改憲を断念させるまで署名運動を続ける」という決意を表明し、河合青年部長が「改憲を断念させるまで署名運動を続ける」という決意を表明した。

10月31日、大阪労連は国労大阪会館で総経団大月会を開催し、阿野代表と河合青年部長の対談が行われ、阿野代表が「改憲を断念させるまで署名運動を続ける」という決意を表明し、河合青年部長が「改憲を断念させるまで署名運動を続ける」という決意を表明した。

建設コーポおおさか  
0120-802-3911

国労大阪会館  
研修・学習会などに利用ください  
06-6354-0861

## ●日本医労連

### 「9の日宣伝」

## 「憲法をどう変えようとしているんですか？」

## 青年の質問に回答。納得して署名、握手まで!!



日本医労連は11月9日昼、入谷交差点で、9の日宣伝を行い、全日赤、東京医労連、医労連本部から12人が参加しました。40分の宣伝で3000万人署名8筆が集まりました。

「憲法のことをよく知らないのですが、憲法というのはどういうもので、どこをどう変えようとしているんですか？」と青年が質問してきたので、「戦争をしない、軍隊をもたないと決めた憲法9条に『自衛』という言葉を書き込むことで、個別的自衛権だけでなく、アメリカと一緒に戦争ができる集団的自衛権までも全面的に合憲としてしまおうと、安倍首相は提案しているんです」と説明しました。すると、「わかりました。そういう署名なら書きます」と署名してくれ、握手までしてくれました。

## ●都教組

## 学習交流集会を開催 3000万人署名と教育署名を一体に取り組む

都教組は、教え子を再び戦場に送らず、平和な未来とゆきとどいた教育を子どもたちに手渡すために、3000万人署名とゆきとどいた教育署名を一体に、憲法を守り生かすとりくみを全力ですすめています。3000万人署名は10月末現在17575筆で、退職教職員の方々の元気な活動にも支えられています。

10月18日には、署名と宣伝をさらに推進するため、学習交流集会を開催。都教組弁護団の白神優理子弁護士が「子どもたちに平和な未来を～安倍9条改憲を断念させるまで～」と題して講演し、支部や退職者の旺盛なとりくみについて交流しました。



### 署名の訴えは、相手の気持ちにそった働きかけ

講演の中で白神さんは、署名を訴えるときには、相手の気持ちにそった働きかけが大切だとし、①正義感の強いタイプ、②情に厚いタイプ、③自由人・仕事を愛するタイプ、④生活実感が大事なタイプのそれぞれについて、相手の思いにどうかみ合った訴えをしていくのか、具体的な例をあげて話しました。また、憲法をどうするかということは、教職員として目の前の子どもの生命にかかわることであり、日本国憲法こそが希望だと強調しました。そして、憲法の中身をリアルに語り、声を上げれば社会は変わることを、多くの人に伝えていこう、と力強く訴えました。

これからも、学習・宣伝をすすめ、国会行動や各種集会、地域行動に参加し、都教組目標5万筆の達成をめざして、全都で運動を強める意思統一の場となりました。

●愛知県医労連 2018 秋闘速報 16 を添付しましたので、そちらもご覧ください。